

# 旧大隈重信別邸・旧古河別邸の工事概要

## 【邸宅工事の種目と内容】

- 構造 : 木造平屋建て、寄棟金属板瓦棒葺
- 延べ面積 : 388㎡
- 建築年 : 明治28年(1895年)
- 改修内容 : 耐震補強、劣化修理、活用に伴う改修



旧大隈重信別邸・旧古河別邸  
(外観)



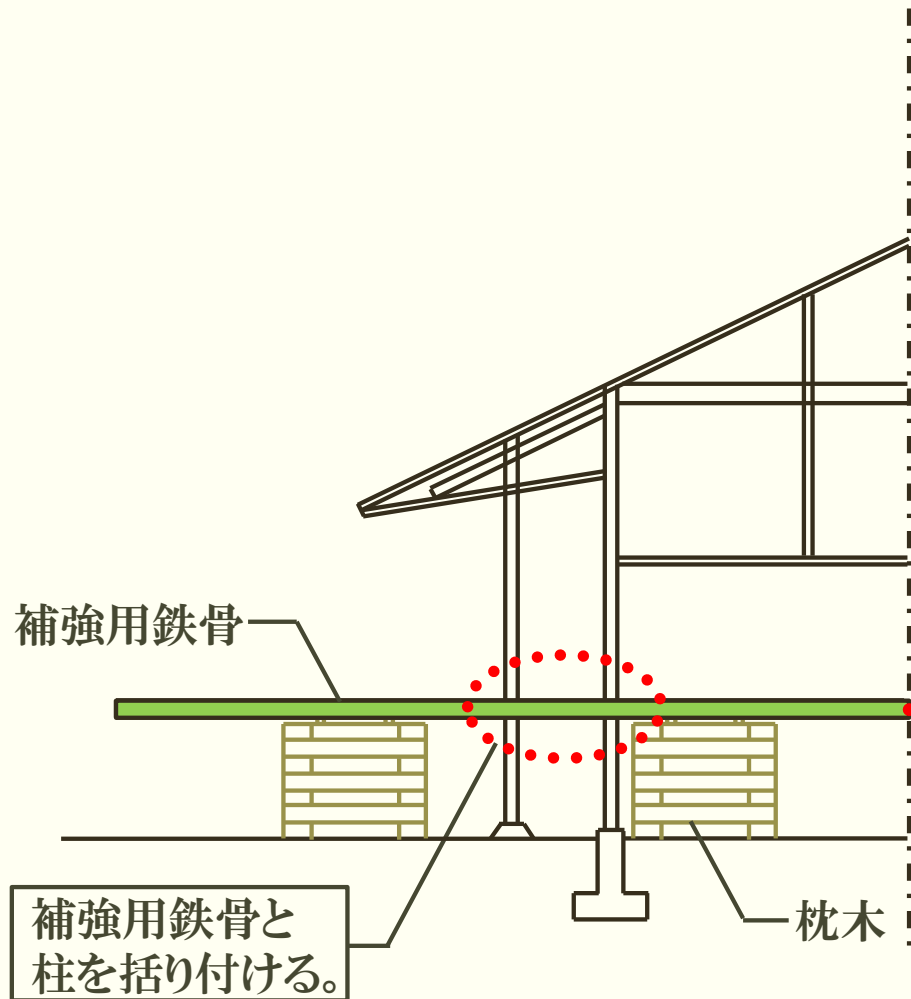
旧大隈重信別邸・旧古河別邸  
(空撮)

# 旧大隈重信別邸・旧古河別邸のあげや工事について

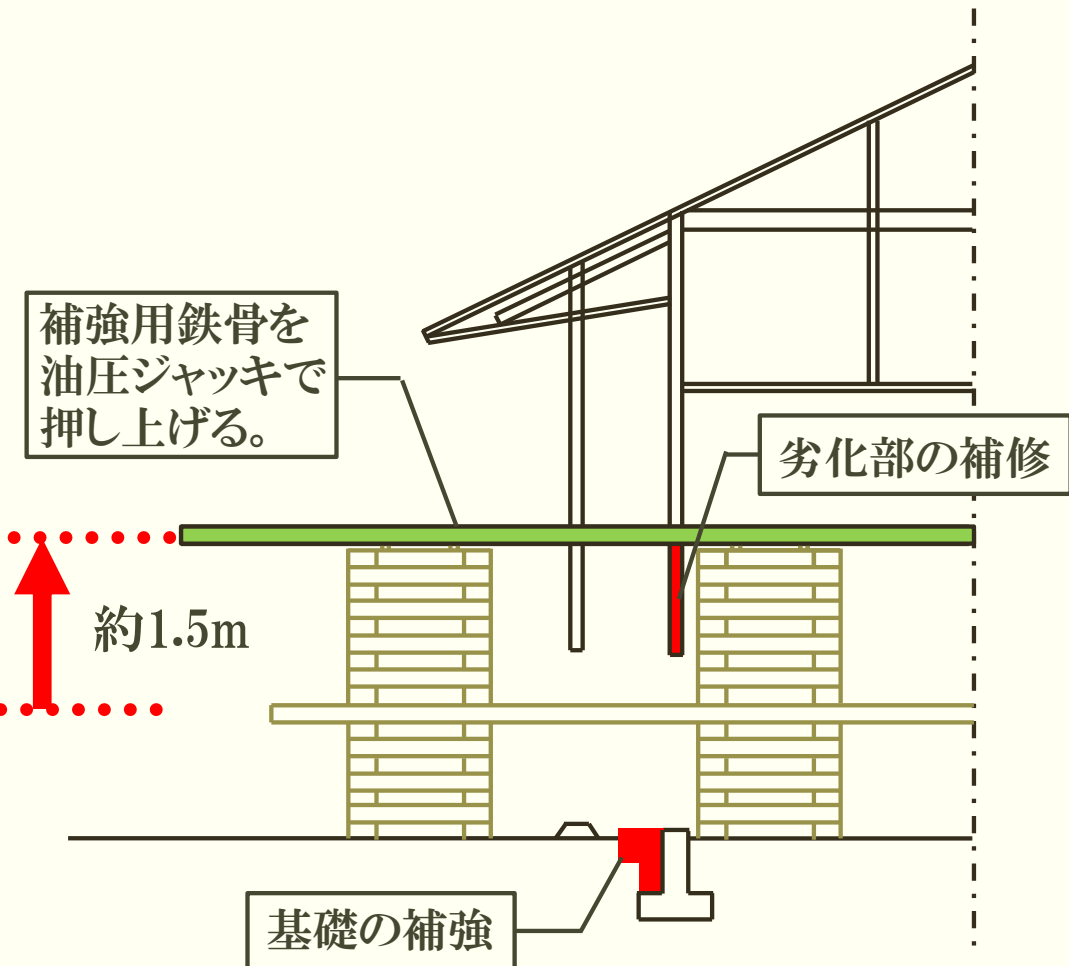
- 基礎の耐震補強工事や、柱・土台等の劣化部の根継ぎ、取替え等の補修工事を行うために、邸宅全体を高さ約1.5mほど持ち上げる「あげや工事」を行います。
- 邸宅を所定の高さに持ち上げるために、敷居から上に補強用の鉄骨を南北方向、東西方向に設置し、邸宅の全ての柱と括り付けた後に、補強用の鉄骨を油圧ジャッキで押し上げていきます。
- 油圧ジャッキ1回分で押し上げることのできる高さは15cmほど、時間は約20～30分程度かかります。
- 1回持ち上げるごとに、ジャッキの下に枕木を組んで邸宅全体を支えています。

# あげや工事の断面イメージ

## ①ジャッキアップ前(準備段階)



## ②ジャッキアップ後 (基礎の補強工事等を実施)



# 旧大隈重信別邸・旧古河別邸のあげやの実施状況



ジャッキアップ開始から  
2日目朝撮影  
14cmまで上昇



ジャッキアップ開始から  
5日目朝撮影  
75cmまで上昇



ジャッキアップ開始から  
6日目午後撮影  
目標の150cmまで上昇完了